

多大な功績に心から敬意を表します

平成11年度市功労者に4氏が決定

かま や よし お
釜谷 義雄氏 (根下戸・81歳)



昭和30年から昭和46年までの16年間、大館市議会議員として在職されました。この間、議会選出の市監査委員として行政運営の適正化に積極的に取り組んだほか、市立総合病院特別調査委員会副委員長などの要職を歴任し、病院行政の健全化などに尽力されました。

あぶ か わ た け ぞう
虻川 竹藏氏 (山田渡・75歳)



昭和26年から現在までの48年間、国勢調査、農業統計調査、農業センサスなどの各種統計調査の調査員として従事し、迅速かつ正確な調査に尽力されました。
また、地域住民に対する統計調査の重要性の啓発活動と市の各種施策の基礎資料づくりにも大きく貢献されました。

ふじ もり いし ごろう
藤盛 石五郎氏 (二井山・77歳)



昭和12年から昭和56年までの44年間、大館市消防団員として常に災害防衛の第一線に立って奮闘し、災害の防止と軽減に努め、市民生活の安全確保と福祉の増進に大きく貢献されました。
昭和50年から4年間は、行政協力員として、市政の円滑な運営に協力されました。

ふく し ゆたか
福士 裕氏 (松原・76歳)



昭和43年4月から現在までの31年間、大館市行政協力員を務め、地域と行政の橋渡し役として、連絡・調整に奔走し、市政の円滑な運営に貢献されました。
また、昭和28年から現在までの46年間、統計調査員として、市の統計調査活動の発展に尽力されました。

市長リポート

No.179



平成11年度 当初予算について

平成十一年度の当初予算は、今月二十五日に市長、市議会議員の選挙が予定されているため、暫定的な骨格予算となりました。そのため、今年度予算は、最終的には選挙が終わった後に六月補正予算として、新市長と新しい議会の代表によって、肉付けされることとなります。
ただ、骨格予算とはいっても、例年より予算規模は小さくなりますが、市民生活に影響のないように十分に配慮してあります。緊急的なものも含み、必要最小限の費用は組み入れてあります。また「十五か月予算」という国の景気浮揚対策の関係からも、十年度からの繰り越しが相当額あります。その意味では、新年度を迎えるにあたって、継続的な事業などは、一定の水準を保って、途切れることなく行うことができます。つまり、今回の当初予算でも六月の予算補正までは十分に賄うことができます。

今年、長引く不況や恒久減税などにより、市民税をはじめとする市税収入の落ち込みが大きいことに加え、五大プロジェクトの整備に伴う元金の償還が始まります。そのため、今回の予算編成は大変厳しいものとなりました。しかし、その限られたなかで景気回復を最優先課題として位置付けて編成を行いました。こうしたことから、昨年十二月に策定した「第二次行政改革大綱」を基に、経費の節減と予算の厳正な執行などを引き続き行っていきたく思っています。

これまで大館市は五大プロジェクトの推進を中心に各種事業を実施してきました。そしてこれらがほぼ完成へと近づいてきました。今夜は二十一世紀に向け、これらの基盤を生かし、その機能が発揮されるような予算編成が必要であると考えております。今年度はその切り換えの年でもありと考えております。

小畑 元